



## 卒業証書授与式

2月28日(木)、第42回卒業証書授与式が行われました。あいにくの天気でしたが、例年以上に多くの来賓の方々と保護者の方々に囲まれて、厳肅な雰囲気の中、卒業生が入場し、厳かに式が始まりました。

卒業証書授与では、担任からの呼名に、卒業生ひとりひとりが3年間の思いを込めて大きな返事で応えていました。総代として、上山竜正君が、卒業証書を受け取りました。

その後、校長先生をはじめ、来賓の方々から、お祝いや激励のメッセージを頂きました。



在校生の送辞では、現生徒会長の岡本紗和さんが部活動や学校行事などの卒業生との思い出や感謝の言葉、そして神崎高校のこれからを受け継ぐ者としての決意を述べました。

卒業生を代表して、前生徒会長長谷川彩人君が答辞を読みました。3年間を振り返り、3年間ともに過ごした同級生や先生方への思い出や保護者の方々への感謝、これからの人生の抱負を涙ながらに述べました。

最後に、式歌や校歌斉唱で、会場全体は大きな感動に包まれました。在校生は先輩を送り出すために、卒業生は全員で校歌を歌う最後の機会に思いをはせながら、歌いきりました。泣きながらも全力で歌う姿や歌声は、会場にいるすべての人にとって一生忘れられないものとなったことでしょう。



退場では、学年の先生へ、卒業生が大きな声で「ありがとうございまして！」と言って退場していききました。涙ぐみながら退場する者、笑顔で退場する者がいました。その退場する姿は、堂々としており、立派に神崎高校の名を背負って、社会へと羽ばたいてくれることと思います。

式後は、各クラスで最後のLHRが行われました。卒業証書を担任の先生方から手渡され、一人ずつクラスに向けて、最後のメッセージを伝えました。担任の先生方からはなむけの言葉は卒業生たちにとって一生の宝物となることでしょう。

42回生の皆さんの今後の更なる飛躍を祈っております。



## 同窓会入会式

2月27日(水)午後1時30分より、同窓会長の横田辰雄様に来校していただき、第42回卒業生の同窓会入会式を行いました。

会長より新会員になる卒業生に歓迎のことばを述べていただき、それを受けて卒業生代表の牛尾翔平君が入会に当たったの宣誓のことばを力強く述べました。

卒業生は全員が、真剣なまなざしで入会式に臨み、母校となる神崎高校に思いを馳せながら、社会人になることの自覚を新たにしています。

**ちょっと一言** ◇ただただ感動です。誇れる生徒たちです。特に本校生の歌声は、「圧巻」でした。卒業する42回生からは、「やりきった感」、2年生から最上級生になるという「覚悟」、1年生は中心学年になるという「ほどよい緊張」が、私の胸に飛び込んできました。42回生の皆さん。これからは同窓生としてお世話になります。地域の皆さんとともに、神崎高校の教育活動に対して、ご理解とご協力をお願いいたします。偶然でしょうか。42回生の卒業号が420号です。(N. A.)